



つくば市科学技術・
イノベーション
振興指針（第3期）
概要版

令和4年(2022年)4月

〔対象期間〕

令和4年度(2022年度)から
令和8年度(2026年度)まで

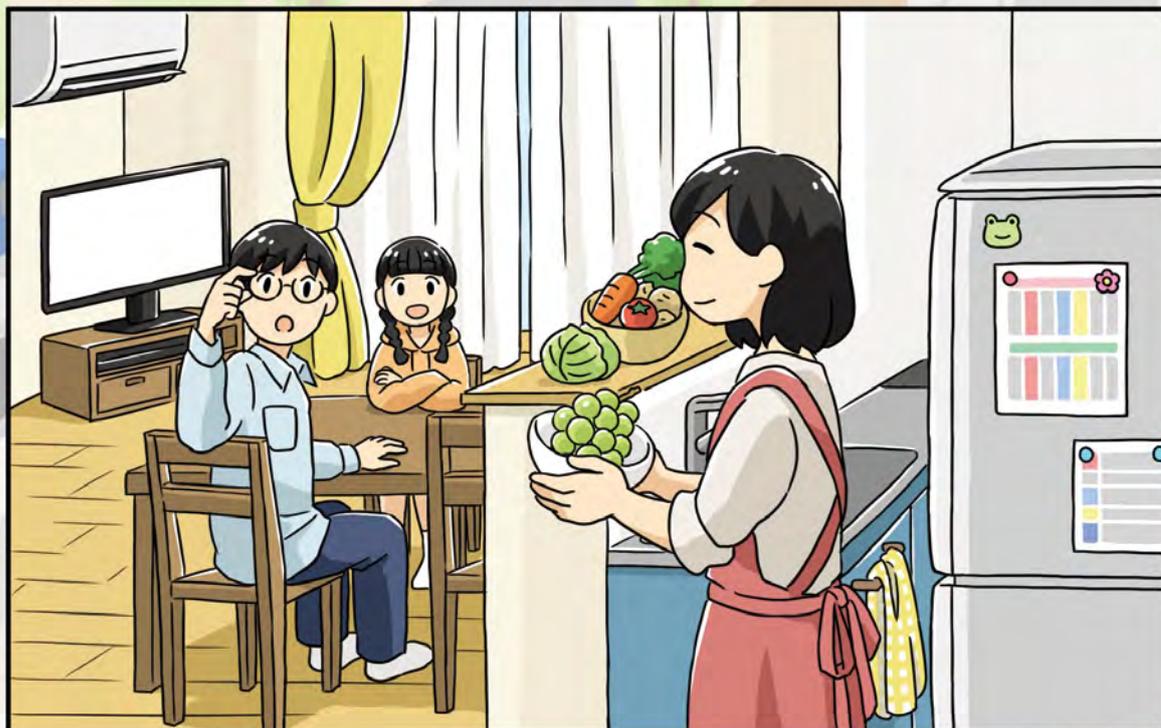


これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs

「科学技術」はすでに身近に

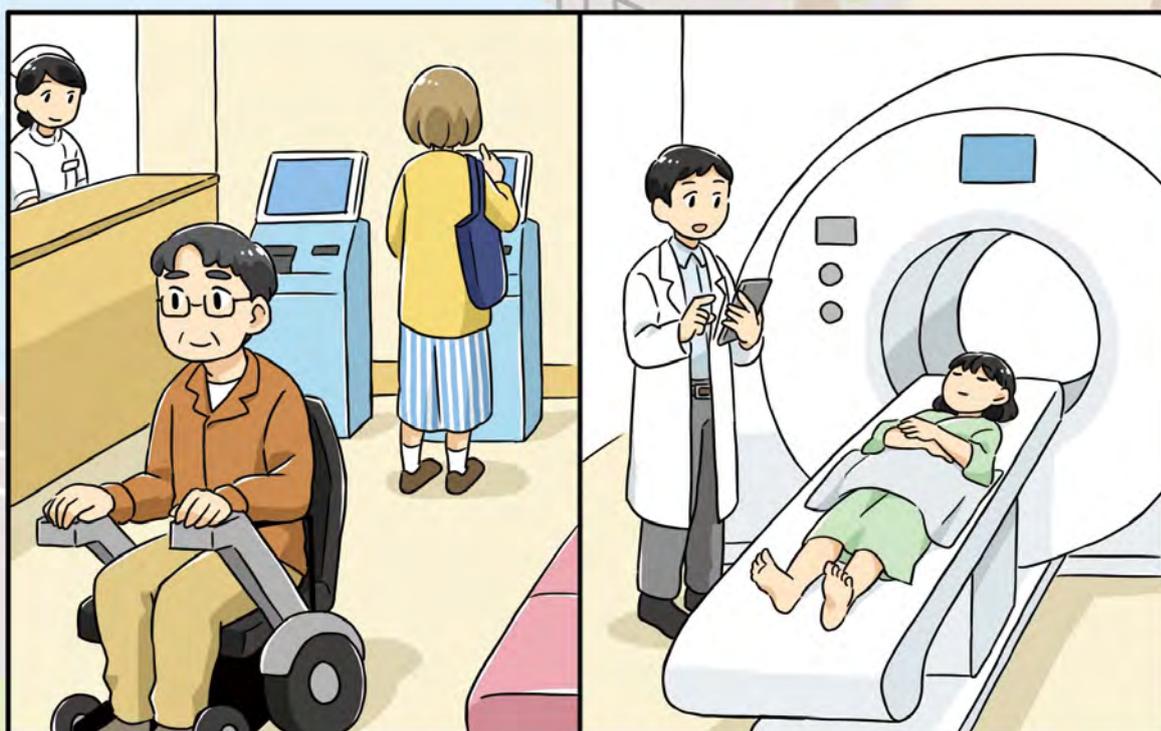
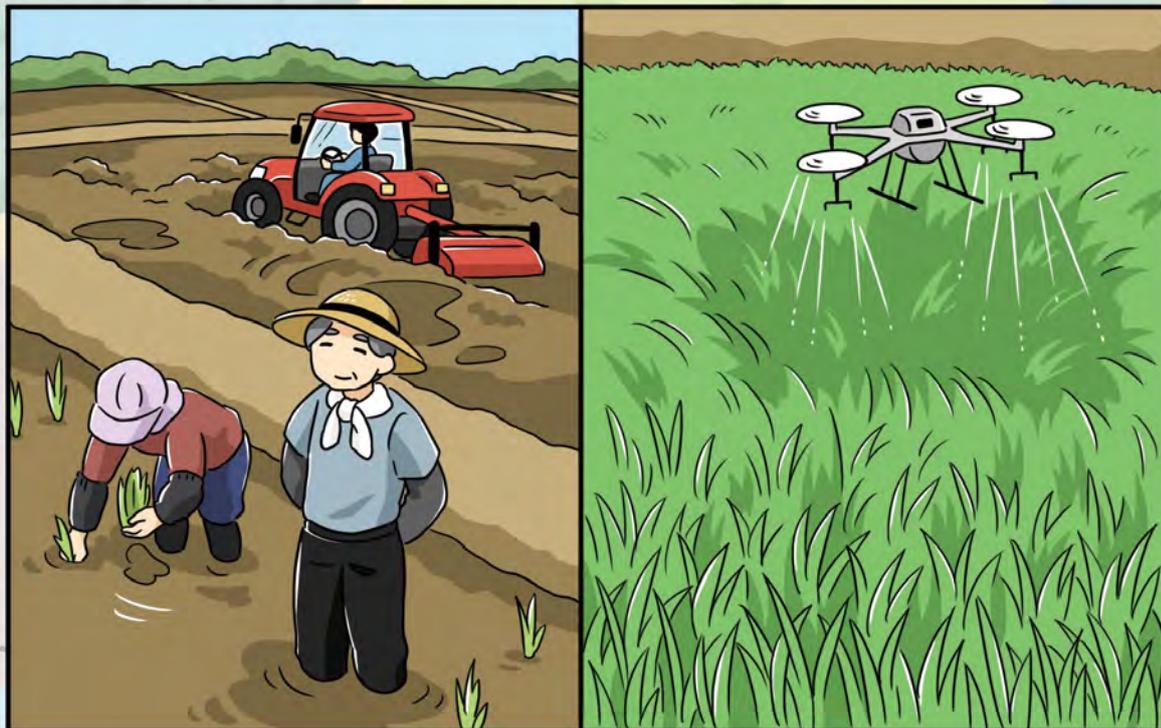
みなさんは、「科学技術」という言葉から何を連想しますか。その捉え方は人によって様々です。

つくば市には、官民合わせて約150の研究機関が立地しています。研究分野も多岐にわたり、世界最先端の研究が日々行われています。そして、その研究が私たちの日常生活の中にあるたくさんのモノやサービスとなって満ちあふれています。テレビ・冷蔵庫などの生活用品から、眼鏡・高機能の肌着などの日用品、食卓に並ぶ野菜や果物、自動車・飛行機などの移動手段、インターネット・スマート



フォンなどの情報伝達手段など、その多くが科学技術によって生み出されたモノやサービスです。子育てや健康、福祉、防災・防犯、産業、インフラなど様々な分野でも、私たちの暮らしを安心・安全で豊かなものにしていきます。これからは私たちの生活につながり身近なものとなって、暮らしをますます便利にしてくれる可能性を秘めています。

つくば市は、科学技術が日常に溶け込み、子どもも大人もワクワクする場をもっと増やしていき、市民の幸せな生活につながるまちづくりをしていきます。



科学技術でつながるつくばの未来 ～市民が

<p>基本方針</p>	<p>1. 科学技術のまちを感じる機会を創出する</p>	<p>2. ひとに寄り添う環境を整備する</p>
<p>取組の方向性</p>	<p>1 科学技術を体験・理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術の実証実験などへのモニター参加機会を作り、科学技術を体験する機会を増やす ● 研究者と市民が協力して研究プロジェクトを行うシチズンサイエンス(科学技術への市民参加)を推進する <p>2 科学技術の取組を広める</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術に関する最新的话题を提供したり、研究者の仕事の紹介、衣食住や医療などの身近な科学技術に関する情報発信を行う ● 国際会議の開催・海外協定都市との連携を効果的に活用し情報を発信する 	<p>1 科学技術を使いやすい環境を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術を利用するための環境を整備する ● 科学技術の社会実装を後押しするため、個人情報の保護により一層の注意を払う <p>2 研究しやすい環境を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕事と家庭生活(家事、育児など)の両立を支援する ● 優秀な外国人人材の誘引・定着を促す

「科学技術のまち」の恩恵を感じるために～

<h2>3. 次代を担う人と地域を育む</h2>	<h2>4. 科学技術で新たな選択肢を創出する</h2>
<h3>1 科学技術の担い手を育てる</h3>	<h3>1 新たな価値を創造する</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ●分野横断型・体験型教育を推進する ●子どもや学生だけではなく、幅広い世代の市民が科学技術の普及のために活躍できる場を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ●科学技術の社会実装までの過程でモニターとして市民の参加を促すことで、市民と一緒に科学技術の恩恵を生み出す ●実証フィールドの提供及び規制緩和の働きかけを行い、起業及び新産業創出を促す
<h3>2 科学技術の担い手とつながる</h3>	<h3>2 科学技術を地域・市民のためにいかす</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ●地域のネットワークを活用して研究者同士がつながる場を創出する ●人文・社会科学を含めて研究分野の異なる組織や研究者、起業家はじめ事業者、学生、市民などによる異分野交流を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ●つくばスマートシティ協議会やつくばスーパーサイエンスシティ構想の取組を進めることで、地域・市民が科学技術の恩恵を日々の暮らしの中で受けることができるまちづくりを実現する

市民

- 多様な市民が科学技術により受ける恩恵とは、子育て・医療・福祉支援、防災・防犯対策、産業振興、インフラの拡充など様々な面において暮らしが豊かになることだと考えられます。具体的な科学技術の恩恵のイメージは以下のとおりです。

<p>高齢者</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンなどを使うことができるようになり、いつでも様々なサービスを受けることができる。(具体的な施策：スマホ、タブレット配付、スマホアドバイザー配置) ●必要なときに必要な場所に行くことができる。(具体的な施策：区域内移動サービス) ●通院、受診という一連の流れを組み合わせたサービスにより、通院が楽になる。(具体的な施策：医療 MaaS) ●多様な行政サービスを移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ●研究開発に参加することで、科学技術や社会の発展に貢献することができる。(具体的な施策：シチズンサイエンス(科学技術への市民参加))
<p>障害者</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要なときに必要な場所に行くことができる。(具体的な施策：区域内移動サービス) ●通院、受診という一連の流れを組み合わせたサービスにより、通院が楽になる。(具体的な施策：医療 MaaS) ●多様な行政サービスを移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ●研究開発に参加することで、科学技術や社会の発展に貢献することができる。(具体的な施策：シチズンサイエンス(科学技術への市民参加))
<p>学生</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●いち早く新しい製品・サービスを体験することができる。(具体的な施策：実証実験のモニター) ●様々な職業のロールモデルを知ることができる。(具体的な施策：研究者のロールモデル紹介) ●起業するための支援を受けたり、異分野の研究者と交流することができる。(具体的な施策：スタートアップ)
<p>子育て世代</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な行政サービスをわかりやすく、移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) ●分野横断型の教育を受けることにより論理的思考を養うことができる。(具体的な施策：STEAM教育を取り入れた教育プログラム) ●インターネットによる医療相談など商用化された研究成果を利用できる。
<p>研究者</p> 	<p>【特に女性研究者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各機関の取組推進により、研究しやすい環境で働き続けることができる。(具体的な施策：研究活動に集中しやすい環境整備) ●多様な行政サービスをわかりやすく、移動なく受けることができる。(具体的な施策：行政のデジタル化) <p>【特に外国人研究者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●入居手続きなどを簡素化することができる。(具体的な施策：外国人研究者宿舍との連携) ●緊急時も外国語で迅速に情報を得ることができる。(具体的な施策：多言語ポータルアプリ)

る各主体の関わり



大学・研究機関への期待

- つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、以下の役割を大学・研究機関に期待します。
 - ・最先端の研究成果を生み出し、アピールすること
 - ・研究活動を市民にわかりやすく発信し、可視化すること
 - ・科学技術の実証実験に市民モニターを活用すること
 - ・シチズンサイエンス（科学技術への市民参加）の研究手法をより多く活用すること
 - ・科学技術を社会に実装していこうとする人々を育成すること
 - ・女性や外国人など多様な研究者の働きやすい環境を整備すること
 - ・大学・研究機関・企業の連携・交流、または研究者の交流を活性化すること
 - ・産学の柔軟なキャリアパスを実現すること

企業への期待

- つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、以下の役割を企業に期待します。
 - ・科学技術によりサービスや製品を生み出し、市域・社会に普及・展開していくこと、そして、そのビジネスを通じて、市域経済を活性化すること
 - ・研究機関との共同研究などを進め、筑波研究学園都市の研究活動の一翼を担うこと
 - ・女性や外国人など多様な研究者の働きやすい環境を整備すること
 - ・つくば発スタートアップとして市内で創業、成長していくこと
 - ・博士人材の採用と、産学の柔軟なキャリアパスを実現すること

つくば市の役割

- つくば市は、市民が科学技術の恩恵を感じられるようにするために、「4つの基本方針」に基づく重点施策をはじめ、その実現に必要な施策を策定し実施するとともに、市民・関係機関等と協働し、十分な連携を図ります。
また、本指針の理念に共感いただいた関係機関等の取組への支援を推進します。

基本方針1：科学技術のまちを感じる機会を創出します。

基本方針2：ひとに寄り添う環境を整備します。

基本方針3：次代を担う人と地域を育みます。

基本方針4：科学技術で新たな選択肢を創出することに貢献します。



つくば市科学技術・イノベーション 振興指針（第3期）概要版

令和4年(2022年)4月

編集発行

つくば市 政策イノベーション部 科学技術振興課
〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1
TEL 029-883-1111(代表)